

6月18日 オープンキャンパス体験授業

学科	内容
<p>看護学科</p>	<p>患者シミュレーショントレーニングやってみよう！考えてみよう！ [担当者: 廣田 真里(講師)・藤後 栄一(助手)]</p> <p>看護師は、患者さんの身体の状態を観察するための技術はとても重要です。脈・心音・呼吸音・瞳の反射などを正常な場合や異常の場合をシミュレーション人形にプログラミングして、観察技術を習得する授業です。また、SIMセンターの見学をします。見学ではナースステーションや病室など病院の雰囲気を感じることができます。また介護の浴槽や在宅など家で治療を受けている人がどのような生活されているか知ることができます。</p>
<p>栄養マネジメント学科</p>	<p><食品コース>: 美味しさってなあに？ [担当者: 細川 敬三(教授)・栗山 磯子(助手)]</p> <p>～5つの基本の味を体験してみよう！～</p> <p>5つの基本味(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味)を鑑別する体験をします。皆さんの味覚感覚は鋭敏でしょうか？チャレンジしてみてください。</p> <p><スポーツ・食育コース>: アトラティブ(魅力的)な水の飲み方！ [担当者: 佐藤 隆(准教授)]</p> <p>あなたの体重の半分以上は、水の重さです。つまり、どのような成分の水を飲んでいるかによって体のコンディションが変化する可能性があります。では、あなたが日頃飲んでいる水はどのようなものなのでしょうか？また、この時期になると、スポーツなどによって熱中症を発症するおそれがあります。この授業では、市販の国内外の水を飲んで、その違いについて比較するとともに、適切な水分の取り方について考えていきます。</p>
<p>健康システム学科</p>	<p>「スポーツ指導者、体育教員を目指す高校生の皆さんへ」 [担当者: 矢野琢也(准教授)]</p> <p>「スポーツ指導者、体育教員を目指す！」と決めた瞬間から、やることは1つ。『勉強する』ことです。体の仕組み(筋肉や関節など)、栄養のこと、心理学のこと、トレーニング方法のこと、競技種目の指導方法のこと…。4年間で学ばなければいけないことはたくさんあります。何をどう学ぶのか？その一部をこの機会に学んでみよう！</p>
<p>社会福祉学科</p>	<p>コミュニケーションから気づくこと [担当者: 和田 光徳(教授)・小倉 毅(准教授)]</p> <p>社会福祉士が行う相談支援は「面接技術」と使って実践されます。数ある面接技術の内、非言語的コミュニケーションのひとつである「表情」を使って、日常的にどのように感情を伝えているのか、受け取っているのか、コミュニケーション・ラボを使用して、理解をします。</p>
<p>こども福祉学科</p>	<p>笑顔と心を育む 音楽の世界を体験しましょう(^-^) [担当者: 立本 千寿子(准教授)]</p> <p>「子どもはなぜ、音楽で笑顔になるのでしょうか？」保育園・幼稚園の保育で実際に行われている題材を色々紹介します。手遊びや歌、楽器、音絵本、ダンスなどの実際の体験を通して、高校生の皆さんがまず笑顔になってもらい、その答えの入り口を感じ覚えて頂けたら嬉しいです。</p>
<p>現代ビジネス学科</p>	<p>あなたの街を変える地域デザイン ～キモチをカタチに、そして元気に～ [担当者: 榎木 浩(教授)]</p> <p>現代は、災害、エネルギー、食料、人口、高齢化、育児、医療、介護、経済格差など、地域が抱える課題がたいへん多い時代です。その厳しい状況の中で、住民や行政が知恵を絞って、そこに生活する人々を幸せにしたいというキモチをカタチにする取り組み(地域デザイン)が全国各地で行われています。この体験授業では、キモチをカタチにする取り組みの事例を紹介し、皆さんと一緒に自分たちの街を変えるデザインについて考えます。</p>
<p>保育科第一部 保育科第三部</p>	<p>「幼児期の楽しい運動遊びを体験しよう！」 [担当者: 三宅 一郎(教授)・永井 夕起子(講師)]</p> <p>幼児期の発達レベルに応じた楽しい運動遊びを体験してみましょう。器用か不器用かは幼児期に約90%が決まると言われています。いろいろな運動遊びを正しく、且つ楽しく実践する方法を知る事が大切です。決して、運動嫌いの子どもを育ててはいけません。子ども達の“笑顔”“喜び”“歓声”大切に保育者を目指しましょう。</p>